

東南おきたま米づくり情報 No.7

目標茎数が確保された圃場から速やかに中干し開始！ 茎数が少ない場合は、茎数確保を最優先！

草丈は平年値より短く、茎数が平年より多い状況です。有効茎数を確保した圃場から直ちに中干しを開始しましょう。一方で生育が遅れていたり、茎数が不足している圃場が一部で見られます。まずは圃場に行って茎数や葉色などの生育状況を確認しましょう。遅くとも7月初めには中干しを始められるよう、適切な水管理で、分けつを促しましょう。

生育状況（6月19日現在、置賜農業技術普及課生育診断圃）

「はえぬき」の生育

項目	川西町吉田		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	28.5	101	平年並み
茎数(本/㎡)	432	137	多い
葉数(枚)	5.7	-0.3	やや少ない
葉色(SPAD)	32.2	+0.6	平年並み

「つや姫」の生育

項目	川西町黒川		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	33.9	100	平年並み
茎数(本/㎡)	451	123	多い
葉数(枚)	7.8	+0.1	平年並み
葉色(SPAD)	36.3	+6.0	濃い

「雪若丸」の生育

項目	高畠町山崎		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	24.9	79	短い
茎数(本/㎡)	518	120	多い
葉数(枚)	8.3	-0.3	やや少ない
葉色(SPAD)	50.4	+4.4	濃い

1か月予報（6月18日 仙台管区气象台 発表）

気温：6/20～6/26：低い見込み
6/27～7/3：平年並み～高い見込み
7/4～7/17：平年並み～高い見込み
降水量：やや少ない～平年並みの見込み
日照時間：平年並みの見込み

有効茎数確保後は、直ちに中干し・作溝を開始！

- 穂肥の前に、過剰生育を抑え、根張りの促進**を図り、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。
- 目標茎数の8～9割に達したら、遅れずに中干し・作溝**を実施しましょう。
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**ですが葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 中干し後は、走り水で飽水管理をした後に、徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株当たりの目標茎数 70株/坪植えの場合	
	60株/坪	70株/坪
はえぬき	23本	
つや姫	20本	
雪若丸	27本	
ひとめぼれ	24本	
あきたこまち	22本	
コシヒカリ	23本	20本

【中干し・作溝の効果】

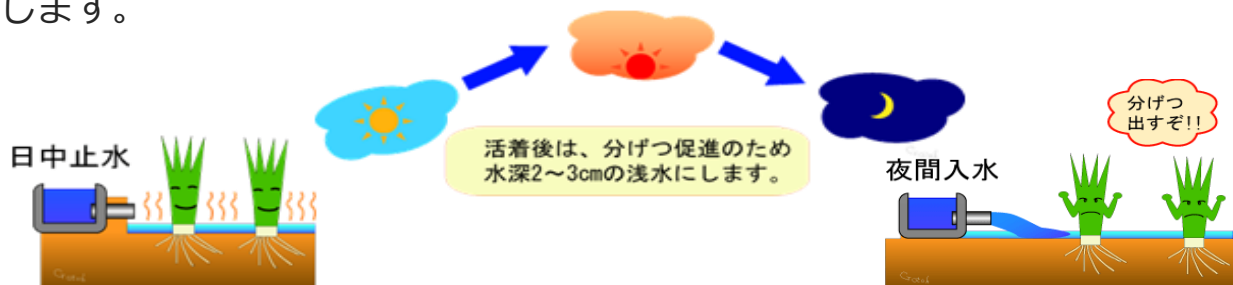
- ◎無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上、倒伏軽減
- ◎登熟期の灌排水の効率化 → 地耐力の向上

茎数が不足しているほ場は茎数確保を優先！

○茎数が不足しているほ場では、引き続き以下の2つの管理で分げつを促進し、6月中に有効茎数を確保するように努めましょう。

① 浅水管理（水深2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい

○土壌の還元が進んでいるほ場がみられます。異常還元（ワキ）で、生育が停滞し、葉色が低下しているほ場では、速やかに水の交換や一時的な落水（2～3日の田干し）を行います。茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。



取り置き苗は速やかに撤去！早期発見・早期対策を！

- 補植用取り置き苗は葉いもち発生の大きな要因です。圃場に残っている場合は、速やかに撤去しましょう。
- 穂いもちを抑える一番の対策は、葉いもちを広げないことです。稲をよく観察し、早期発見・早期防除を心掛けましょう。



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類の発生はやや多い！（県病害虫防除所予察状況）

- 畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。
- 水田内のイヌホタルイやノビエは、アカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。また、こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬使用の際は使用基準を再確認！

西おきたま 米づくり情報No.7

令和8年6月22日
西置賜農業技術普及課
JA山形おきたま

茎数は順調に増加しています。中干しは遅れずに開始！ いもち病の予防剤は適期に散布しましょう！

昼夜の寒暖差が大きく、この10日間で分けつが進み生育量が確保できた圃場が増えてきました。「中干し」は生育過剰を防いで充実した穂をつくる大切な管理です。「中干し」の効果を高める「作溝」も併せて作業し、暑夏に備えましょう。「いもち病」による減収を防ぐため、予防剤や治療剤を有効に利用しましょう。

生育状況（6月19日現在、西置賜農業技術普及課生育診断圃）

平坦部「はえぬき」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	33.4	89	短い
茎数(本/㎡)	442	109	多い
葉数(枚)	8.8	+0.6	多い
葉色(SPAD)	43.7	+2	やや濃

「つや姫」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	32.8	85	短い
茎数(本/㎡)	456	99	平年並
葉数(枚)	8.4	+0.1	平年並
葉色(SPAD)	41.2	+0.7	平年並

「雪若丸」の生育

項目	飯豊町		概況 (平年値との比較)
	調査値	平年比・差	
草丈(cm)	28.7	85	短い
茎数(本/㎡)	514.5	108	多い
葉数(枚)	9.2	+0.5	多い
葉色(SPAD)	42.6	-2.5	やや淡

—2週間予報（6月20日仙台管区気象台発表）—
○気温：6/23～6/28：並～かなり低い見込み
6/29～7/3：高い見込み
○6/21～6/28までは、平年と同様に曇りや雨の日が多いと見込まれます。

曇天や降雨の多い天候の中で「中干し効果」を高めるため、できる限り早く中干しに移行しましょう

有効茎数確保後は、直ちに作溝・中干しを開始！

- 穂肥前**に生育を制御、根張りを促進して、穂肥がしっかり行える稲姿にしましょう。
- 中干しで発生する直下根は、出穂後の高温対策として有効**です。条件が整った圃場は直ちに中干しに移行しましょう。
- 中干しの目安はほ場に小ヒビが入る程度**ですが葉色や生育量に応じて中干しの強度（乾き具合）を調節します。
- 中干し後は、走水で飽水管理をした後に徐々に間断かん水（2日湛水・2日落水）に切り替えます。

品種別の目標茎数の目安（本/株）

品種	1株当たりの目標茎数 70株/坪植えの場合	
	60株/坪	70株/坪
はえぬき	23本	
つや姫	20本	
雪若丸	27本	
ひとめぼれ	24本	
あきたこまち	22本	
コシヒカリ	23本	20本

茎数が不足しているほ場は茎数確保を優先！

○茎数が不足しているほ場では、引き続き以下の2つの管理で分けつを促進し、6月中に有効茎数を確保するように努めましょう。

- ① 浅水管理（水深2～3cm） ② 昼間止水・夜間かんがい



○土壌の還元が進んでいるほ場がみられます。異常還元（ワキ）で、生育が停滞し、葉色が低下しているほ場では、速やかに水の交換や一時的な落水（2～3日の田干し）を行います。茎数が不足している場合は、水交換または夜間のみの落水とします。

○除草剤散布後7日間は落水せず必ず止水としてください。

作溝の効果：間断かんがいの効率化 → 根の活力維持、地耐力の向上

作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効

中干しの効果：無効分けつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上

取り置き苗で葉いもち確認！早期発見・早期対策を！

○補植用取り置き苗で葉いもちの発生が確認されています。

ほ場に残っている場合は、速やかに撤去しましょう。

○穂いもちを抑える一番の対策は、葉いもちを発生させないことです。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除を心掛けましょう。



葉いもちの病斑

斑点米カメムシ類の発生がやや多い！（県病害虫防除所予察情報）

○畦畔・農道、雑草地の除草（草刈り）を地域ぐるみで行い、地域全体の斑点米カメムシ類の生息密度を下げましょう。

○水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源になります。残草対策もしっかり行いましょう。



アカヒゲホソミドリカスミカメ アカスジカスミカメ

農作業事故と熱中症に要注意！ 声をかけ合い農作業事故ゼロへ！

複数人での作業実施、施設や道具の点検、転落防止のための対策などを徹底しましょう。また、こまめな休憩と水分・塩分補給。ゆとりをもった無理のない作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！ 農薬使用の際は使用基準を再確認！